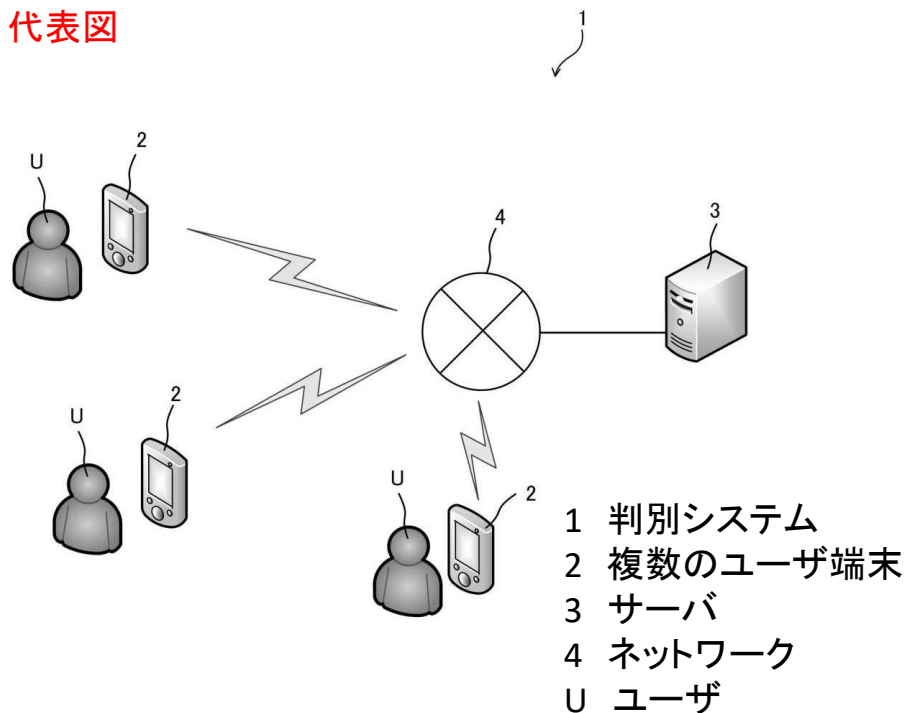


放送・通信

動物・昆虫など生物の種を判別する装置

発明の名称	判別装置、判別方法、判別プログラム、判別システム		
出願人/権利人	株式会社バイオーム	発明者	藤木 庄五郎、源六 孝典
出願日	平成29年11月21日	出願番号	2017-223272
公開番号	2019-95949	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



発明の概要

動物や昆虫、植物を含む生物の種を判別できる判別装置、判別方法、判別システム

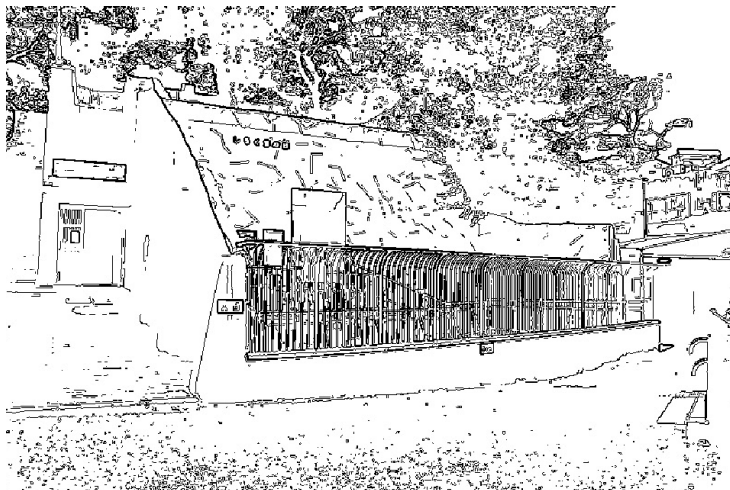
特徴

生物を判別する判別装置であり、ユーザ端末から送信される位置、日時、画像データ、画像データの属性情報および生物の特徴を表すキーワードの少なくとも一つを含む特徴情報を受信する受信部と、生物の種が特徴情報に関連付けて記憶されたデータベースを参照し、受信部で受信される特徴情報に基づいて、生物の種を判別する判別部を備えている。またサーバは、生物の出現確率(レア度)を算出する出現確率算出部を備える。外来種や絶滅危惧種等の所定の種が発見された場合には、情報が自動で収集され直ぐに専門の研究機関等へ自動で通報されるため利便性が高い。

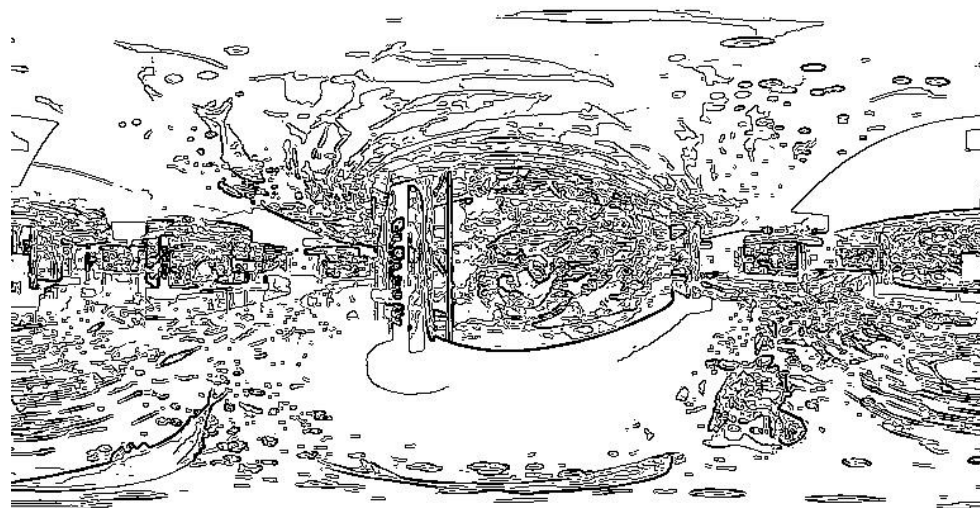
関連分野

業務用機械、電気機械、電算機類、マルチメディア機器、専門技術サービス

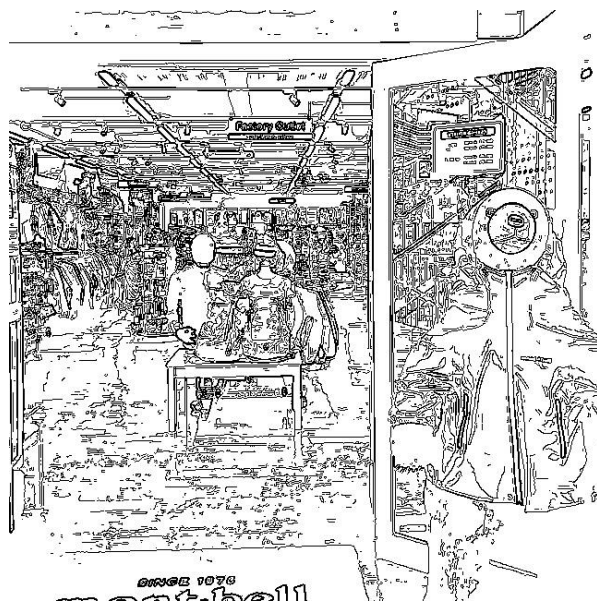
応用の可能性



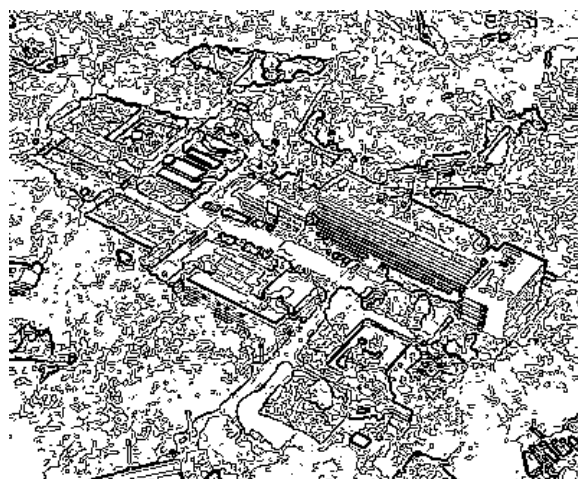
動物園・植物園



水族館



アウトドアショップ



大学等の研究機関

屋外イベント企画会社



など

応用の可能性

- ・動物園・植物園
- ・水族館
- ・大学等の研究機関
- ・アウトドアショップ
- ・屋外イベント企画会社
など

本技術の活用が見込める企業の一例

- | | |
|--------------|------------------|
| ・天王寺動物園 | ・神戸大学 |
| ・アドベンチャーワールド | ・株式会社モンベル |
| ・神戸どうぶつ王国 | ・株式会社ロゴスコーポレーション |
| ・長居植物園 | ・株式会社スノーピーク |
| ・京都大学 | ・関西教育旅行株式会社 |
| | など |

株式会社バイオームの本発明に関する最新動向

- ・株式会社バイオームのホームページ(<https://biome.co.jp/>)には、本件特許に関連するアプリが掲載されている。